

講義名	対19-業界研究(金融)/15-企業論特別講義(金融)			授業形態	
担当教員	内山 勝久/羽森 直子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生
				ナンバリング	

**主題と概要**

この授業は、銀行や信用金庫、証券、損害保険、生命保険、ノンバンク等の金融業界における業務内容や課題を学び、理解を深めることを目的とします。授業では、各業界団体等に所属する実務経験者をお招きし、業界事情の基本的事項から最新動向まで、さらに地域経済との関わりなどについても実情を踏まえて講義していただく予定です(一部の授業は本学教員が担当します)。また、自金融機関が扱う金融商品の種類や特徴などを平易に説明していただき、学生の金融リテラシーを高めることも意識します。想定する受講生は、(現時点では明確でなくても)卒業後に金融機関やその関連企業で働くことに関心がある学生ですが、一般企業の財務部門等への転職を希望して金融機関を相手に資金調達を担当する可能性がある学生、あるいは将来お金のことで困らないように金融リテラシーを向上させたいと考える学生にとっても大いに役立つと思われる。学生の所属学部・学科は問いません。

**到達目標**

自受講生が、  
 (1)金融業界の実態(業務内容、課題や将来展望など)について理解を深め、自分自身の職業選択の一助とすることができるようになること、  
 (2)各種金融商品等に関する基礎知識を獲得し、自分自身の金融リテラシーを高め、将来の職業生活やライフプランに役立てることができるようになること、  
 を目指します。

**提出課題**

授業内容に関する課題を、ほぼ毎回の授業で課します。また、各講師からアンケートなどの提出を求められることがあります。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法**

オムニバス形式の授業なので難しいかもしれませんが、もし時間に余裕があれば、提出された課題について適宜授業内でコメントしたいと思います。また、提出された課題は、その一部を授業を担当した講師に提供することがあります。

**評価の基準**

平常点(授業への参加度、発言の量や質などの授業への貢献度、課題の提出状況や出来栄など)100%で評価します。優れた発言や質問、質の高い課題の成果に対しては、満点を越えて加点評価することがあります。5回以上欠席すると単位数認定が困難となります。

**履修にあたっての注意・助言他**

関連する科目に「金融論」「生活金融論」「教養特講(生活のための金融知識)」「業界研究(証券業)」などがあります。毎回の授業では、レクチャーを利用できるように準備してください。特別な理由のない欠席や遅刻や途中退席は欠席扱いとします。外部講師には敬意をもって接し、社会常識を踏まえた受講態度で臨んでください(周りをしなない、帽子は脱ぐ、スマホで授業に無関係のサイトの閲覧に真じない.....外部からどのような目で見られているのかを強く意識してください)。私語等で授業を妨害する行為は、他の意欲的な学生にとって大きな迷惑行為となりますので、厳に慎んでください(集中力を維持してください)。

**教科書**

・特定の教科書は使用しません。

**参考図書**

・なし。

**その他**

授業は各講師が用意したスライドや資料を使って実施する予定です。各講師が用意する配布可能な資料は、事前に RYUKA Portal 経由で配布するか、もしくは授業開始時に教室で配布します。

**授業計画**

- 第1回 イントロダクション 【経済学部・内山】
- 第2回 大学生活とお金のこと 【全商銀行協会】
- 第3回 銀行の銀行の動向 【全商銀行協会】
- 第4回 (仮)金融業界に就職する学生の傾向と対策 【経済学部・羽森教授】
- 第5回 社会に出る前に知っておきたいマネーの知識 【日本証券業協会】
- 第6回 証券業界・証券市場って何だろう 【日本証券業協会】
- 第7回 暮らしの中の危険と損害保険 【日本損害保険業協会】
- 第8回 損害保険業界の現状 【日本損害保険業協会】
- 第9回 生活設計とリスク管理 【生命保険文化センター】
- 第10回 生命保険の基礎知識 【生命保険文化センター】
- 第11回 (仮)地域金融機関、地域経済と日本銀行神戸支店の業務 【日本銀行 神戸支店】
- 第12回 (仮)信用金庫と地場中小企業/信用金庫業界の将来展望と課題 【信金中央金庫 地域・中小企業研究所】
- 第13回 (仮)ノンバンク業界の現状と将来展望 【日本貸金業協会】
- 第14回 (仮)長期的なマネープランの必要性/ファイナンシャル・プランナーの業務内容と将来展望 【日本ファイナンシャル・プランナーズ協会】
- 第15回 政府系金融機関の機能と役割/全体のまとめ 【経済学部・内山】

[ ]の中は、講義を担当する組織名あるいは教員名を表します。  
 (仮) はテーマが仮題であることを表します(授業日までには正式なテーマをお知らせします)。  
 講師の都合により、内容を若干変更する可能性があります。  
 一部の授業はオンライン(ライブ配信等)で実施する可能性があります。

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア:PBL(課題解決型学習)	イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート	エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション	カ:実習、フィールドワーク
キ:その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間**

授業前には、授業で取り上げるテーマについて、新聞、雑誌記事を検索したり、図書館で「金融業界」に関連する書籍を閲覧するなどして、情報を集めて要点をまとめてください:約1時間/回。  
 授業後は、(1)記憶が鮮明なうちに授業の要点をノートにまとめてください:約1時間/回。(2)その上で、授業で出された課題に取り組んでください:約1時間/回。(3)さらに、授業のなかで自分が関心を持ったトピックについて新聞・経済雑誌・信頼できるウェブサイトなどで詳しく調べて、ノートにまとめてください:約1時間/回。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

この科目の「到達目標」を達成することで、金融業界に関する基本的な実務知識を獲得したり、業界の課題を理解したりすることができるようになり、あわせて、銀行・保険・証券などの金融機関は経済活動のあらゆる分野に關わる社会基盤としての役割を担っていることを理解できるようになります。これは、経済学部の学生が卒業時に獲得しておくべき資質・能力である、経済全体を総合的・俯瞰的に捉えることができる能力が備わることにつながります。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

実務経験あり(外部講師のみ)  
 外部講師は銀行・証券・保険など金融業界の各分野に精通しており、現場での豊富な実務経験を踏まえた業界事情や金融リテラシーを学ぶことができます。

**備考**